

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
<p>1 豊元ふき (公明党)</p>	<p style="text-align: center;">※一括質問方式（質問席）</p> <p>1 交通弱者の移動支援について</p> <p>(1) 「うらちゃんmini」の代替となる地域交通サービスの充実について</p> <p>(2) 高齢者・障がい者・子育て世帯の移動手段の確保について</p> <p>(3) フレイル予防の観点から見た移動支援の必要性について</p> <p>2 防災力の強化と災害時対応の底上げについて</p> <p>(1) 避難所の環境整備の今後の方針について</p> <p>(2) 災害時の情報伝達手段の強化について</p> <p>(3) 公衆衛生について</p> <p>3 物価高騰対策と生活者支援について</p> <p>(1) 本市が現在実施している生活者支援策の状況と、その効果について</p> <p>(2) 国の追加支援の検討状況について</p> <p>(3) 子育て世帯、高齢者、ひとり親、そして中間層を含めた重点支援の在り方について</p>
<p>2 又吉愛華 (明日の種)</p>	<p style="text-align: center;">※一問一答方式（質問席）</p> <p>1 小中学校体育館の空調設備整備について</p> <p>(1) 近年の猛暑により、本市小中学校の体育館内の温熱環境が児童生徒の健康や授業・部活動にどのような影響（熱中症など）を及ぼしているのか、その実態把握と教育委員会としての課題認識について伺います。</p> <p>(2) 学校体育館が「学びの場」と「避難所」の二つの役割を持つことを踏まえた上で、現在の環境の課題と、目指すべき環境整備の水準について伺います。</p> <p>(3) 空調設備整備臨時特例交付金の制度概要（目的・対象・補助率など）と、前回議会以降の活用検討の進捗状況（庁内協議、概算事業費、申請予定の有無及び判断時期）について伺います。</p> <p>(4) 事業費の財源構成（交付金・地方債・交付税措置・一般財源）について伺います。</p> <p>(5) 当該交付金が活用できる期限及び、国が目標としている「今後10年間の学校体育館空調設置率」について伺います。</p> <p>(6) 当該事業の活用を予定している県内自治体の状況について伺います。</p>

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	<p>2 小中学校部活動の県外遠征支援について</p> <p>(1) 未来へ翔たく太陽っ子育成事業（県外派遣費補助）について、当該事業の制度概要と、直近の交付実績（件数・人数・予算・決算）について伺います。</p> <p>(2) 実際の遠征費用に対する補助のカバー率と、保護者から寄せられている主な要望・課題をどのように受け止めているのか伺います。</p> <p>(3) 本補助金を活用できず、やむなく全額実費負担したケースや、逆に遠征自体を諦めたケースの有無など、その実態をどのように把握しているのか伺います。</p> <p>(4) 各部活動の保護者が自主的に行っている資金造成の取組に関し、負担面や効率面でどのような課題があると認識しているのか伺います。</p> <p>3 防犯灯の設置及び管理について</p> <p>(1) 浦添市防犯灯設置補助金交付規程及び浦添市自治会行政運営補助金交付規程に基づく、防犯灯設置補助及び電気料金補助の内容（補助率・対象者等）について伺います。</p> <p>(2) 市内住宅街における防犯灯の設置・所有・維持管理の主体を自治会としている理由について伺います。</p> <p>(3) 直近の自治会加入率と、加入者の属性（戸建て・集合住宅、現役世代・高齢者など）の状況について伺います。</p> <p>(4) 市内に設置されている防犯灯のうち、LED灯が占める割合について伺います。</p> <p>(5) 自治会加入者がいない地域から防犯灯設置の要望があった場合の現在の対応方法と、その際に生じている課題について伺います。</p> <p>4 本市における財政指標及び世代間の負担の平準化について</p> <p>(1) 財政に関して用いている経常収支比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のそれぞれの指標の意味や役割について伺います。</p> <p>(2) これらの指標のうち、いわゆる「財政健全化判断比率」に位置付けられている指標について、早期健全化基準や財政再生基準など、国が定めている目安の水準について伺います。</p> <p>(3) 本市の財政運営において、「ここまでは安全」「ここからは注意」といった独自の注意ラインや目標とする水準があれば、その考え方について伺います。</p> <p>(4) 直近決算年度における本市の経常収支比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の数値について、それぞれ伺います。</p>

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	<p>(5) これら各指標について、沖縄県内11市の中で本市がどの位置（順位）にあるのか、それぞれ伺います。</p> <p>5 実施計画における各部提出枠について</p> <p>(1) 実施計画における各部提出枠について、その概要と具体的な算定方法、あわせて提出枠を設けること及びその算定方法のメリット・デメリットについて伺います。</p> <p>(2) 今年度から、各部提出枠を超える事業の提出を一切認めない運用に改めた経緯と狙いについて伺います。</p> <p>(3) 運用見直しにより、各部で提出枠を超えたために実施計画に上げることができなかった事業の件数や事業規模、また、その中に市として重要性や緊急性が高いと認識していた事業があったかどうかについて伺います。</p> <p>(4) 例えば、A部で提出枠を超えたために提出できなかった事業と、B部で提出枠内に収まったために提出できた事業とを、市としてどのような基準やプロセスで比較・判断し、優先順位づけを行っているのか伺います。</p> <p>(5) 提出枠を超えた事業が実施計画の検討対象に上がらない現在の仕組みが、市全体で「どの事業を優先すべきか」を部を超えて比較・検討する機会や、市民ニーズのボトムアップを阻害している側面について、どのように認識しているのか伺います。</p>
	以上